

更生保護 あおもり

【第88号】

発行日 令和元年12月20日
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会
 青森県保護司会連合会
 青森市長島1-3-25
 電話 017(776)6419

保護観察対象者の再犯防止 には就労が大切である

NPO法人
 青森県就労支援事業者機構

会長 川嶋 勝美



今年6月に、NPO法人 青森県就労支援事業者機構の会長に就任いたしました川嶋勝美でございます。

私の更生保護に関わる活動は

2000年12月…青森県更生保護協会 評議員

2005年9月…青森県更生保護協会 常務理事 (保護司も拝命)

〈2007年…すい臓がんステージIVに罹患〉

2011年8月…同 副理事長

2012年4月…NPO法人 青森県就労支援事業者機構 常務理事

2019年6月…同会長

以上 19年間更生保護活動に関わってきましたが、実務も良く理解しないまま手探り状態で、周りの先生方保護観察所の皆様に助けられ、ご指導いただきながら職務を遂行してまいりました。皆様に感謝申し上げます。

さて昨年から、私にとって新しい発見が沢山ありました。

①2018年…更生保護の先進県である長崎県への視察の旅。長崎刑務所、更生保護活動のトップリーダー伊豆丸先生のお話。青森県の更生保護活動の違いなど…沢山の有意義なコトを学んだ。国、県、民間団体などのネットワークが構築され活発な更生保護活動を実施。青森県にもまだまだやるべきことがあると認識した次第である。

②2019年…島根あさひ社会復帰促進センターへの視察の旅。PFI方式で…官民協働で設計、建設、運営



のへじ祇園まつり

のへじ祇園まつりの中日に、野辺地湾で行われる海上大パレード。御神輿を先頭に各町の町印と神楽が続き、その後には大漁旗や吹き流しで鮮やかに飾り付けた漁船が航行し、まつりを盛り上げる。

【写真提供 県央ブロック・野辺地区】

をしていて2,000人収容できる。施設、設備、運営方法はデジタル化されていて、極めて近代化された刑務所。運営に携わる人…国の刑務官190人、民間の事業者の従業員450人。AI、IOT、ITが導入され、例えば朝、昼、晩の食事の配膳係はロボット。廊下は無人のロボットが中央を独占して動き回る。人は隔っこ。収容者のことを訓練生と呼び一人一人が個人のICカードを常時身につけている。管理室では訓練生の一举手一投足、居場所など監視している。施設内には看守の姿はまばら。人よりもAIが幅を利かせているようでもある？

③2019年10月…東京で行われた更生保護70周年記念全国大会に参加。天皇、皇后両陛下、安倍晋三内閣総理大臣、小池百合子東京都知事などのご臨席の中で式典は厳かに行われた。

いろいろな業界の全国大会に今まで出席経験があったが、更生保護の世界は別格。視察、行事などへの参加の大切さを痛感している昨今である。自分の立ち位置の認識、仲間のみなさんとの相互理解、ネットワーク拡大、絆も深くなる。視察、行事への参加を大いに推奨したいと思います。(NO…井の中の蛙大海を知らず)

最後にNPO法人青森県就労支援事業者機構として今年度特に力をいれたいコト。保護観察対象者の再犯防止には就労が大切であることの認識のもと青森県、青森市、弘前市への雇用主に対して、入札参加有資格付けにおける優遇措置の導入へ向けて積極的に働きかけを行っていきます。(八戸市においては2020年6月から適用開始が決定しています)

NPO法人青森県就労支援事業者機構、役職員一同頑張っております。

更生保護関係者の皆様のご指導、ご支援を切にお願い申し上げます。

～ 青森県保護司会連合会 社会を明るくする運動から ～ 青森ねぶた祭り で全国にアピール



青森県保護司会連合会では、青森保護観察所、青森地区保護司会のみなさんと共に8月6日、青森市PTA連合会ねぶたの協力を得て青森ねぶた祭りに参加、総勢22名で社会を明るくする運動を実施。のぼりを掲示、沿道の観客に「REスタート」のうちわ・チラシを配布しました。



「学校における生徒指導上の課題と対策」

～ 青森県保護司会連合会 自主研修より ～

講師 青森県教育庁学校教育課 生徒指導支援グループ
副参事 北城 高広 氏



いじめを許さない学校の取組

青森県保護司会連合会では、令和元年10月17日(木)青森保護観察所に於いて、理事会の前に、青森県教育庁学校教育課の北城氏を迎え自主研修会を開催。

講演の中で北城氏は、青森県のいじめ認知件数でH27年度では約1,100件だったのがH28年度は約5,000件になりH29年度は約7,000件になっています。これは、いじめの積極的認知が浸透し、軽微な事案も積極的にいじめとして、認知し解決をするように努めてきた結果であると思われます。また、いじめの発見のきっかけとしては、①アンケート調査

②本人からの訴え ③学級担任が発見 ④本人の保護者からの訴え が上げられています。そこで青森県では、「いじめを許さない学校に」という取組で、国の基本方針「いじめ防止対策推進法」を軸に、学校では「いじめ対策組織」をつくり児童・生徒が安心して学べる学校づくりに取り組んでいます。そして、この組織が中心となりPTA や地域、警察などの関係機関と連携して取り組むことが重要であると考えています。

また、生徒指導の充実については、外部専門家活用事業で①スクールカウンセラーの配置 (すべての公立小中学校へ配置) ②スクールソーシャルワーカーの配置 (すべての公立中学校区へ配置) している。

不登校の児童生徒に関して、適応指導教室 (県内15カ所)、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーや医療機関 (起立性調節障害・摂食障害、適応障害等) による支援も進めています。特に本県では、未然防止に係る取組として「居場所づくり・絆づくり調査研究」を行い新規不登校の抑制を目指しているという現状を発表して頂きました。

女性専用の更生保護施設と民間運営の刑務所を訪れて

青森県更生保護関係者による
「再犯防止推進事業」のための視察研修より



島根あさひ社会復帰促進センターの刑事施設エリア

NPO 法人就労支援事業者機構 常務理事
鎌田 喜代志

家庭の温かみや精神的フォローを大切に

令和元年9月29日(日)～10月2日(水)にかけ、青森県更生保護関係団体から9名の参加者で、京都市・更生保護法人西本願寺白光荘と島根県浜田市にある島根あさひ社会復帰促進センターの視察研修を行いました。

西本願寺白光荘は女性専用施設で、民間の更生保護施設は全国に101施設ありますが、女性専用施設は僅か7施設しかなく、西本願寺白光荘は近畿唯一の女性専用施設で、宿所や食事を提供、自立更生に必要な指導助言を行い、その更生を図ることを目的として運営、本人に適した就職先の斡旋など早期自立のための指導・援助を行っている施設です。

今回の視察では、女性の更生の難しさに対して、更生保護施設での社会復帰、再犯防止、女性職員や更生保護女性会の援助など、女性ならではの家庭の温かみや精神的フォローを大切にしている取組みを見ることができました。



更生保護法人西本願寺白光荘にて

また、島根あさひ社会復帰促進センターは、PFI刑務所（民間企業が刑務所運営に参加する刑務所）で犯罪傾向の進んでいない男子受刑者等2,000名を収容する施設となっています。その中には、身体障がいや精神・知的障がいや有する者など、特別なケアを要する

者も含まれています。国の知識・経験と民間のノウハウを活用した官民協働の運営がされていることが挙げられます。受刑者と地域のボランティアによる盲導犬パピー育成プログラムや、ホースプログラムなどの動物介在活動を関係団体の協力の下実施しています。園芸療法活動としては、構内のビニールハウスでバラの水耕栽培をしていました。



「理容科」「介護福祉科」「医療事務科」「調理科（パン職人）」
「PC上級課程」「デジタルコンテンツ編集科」等がある

法に触れた人を受刑者にするのではなく社会で生活できるようにする仕組みの必要性

近代的な設備の中で、刑務所職員の業務効率を上げることが狙いとするカメラと指紋認証のシステムを使い、敷地内の位置情報を把握して入退室を管理することや、受刑者の領置物品の受け渡しや購入した物品の要求に使うなど、今まで職員が苦勞してきた事務的処理などが、機械を使うことで、いとも簡単に処理ができ、なおかつ、人的ミス的大幅な軽減、人件費削減や効率よい業務となり、一般刑務所でも取り入れても良いことが多くあると思いました。加えて、盲導犬候補の子犬（パピー）を育てるプログラムを修了した受刑者の再入所率が低下していて、プログラムは大きな成果を上げているそうです。受刑者の「自己肯定感」、人が自尊心を持って生きる上で不可欠であるから、このようなプログラムがあることは良いことだと感じました。そして受刑者の社会復帰への意欲を高めようとしていくことが感じられました。どこの刑務所でも大きな問題は、高齢受刑者と知的・精神障がいのある受刑者のことです。この施設でも、一般の受刑者と同様に働けない受刑者のための工場で約70人が働いているとのこと。窃盗や詐欺などで法に触れた彼らを受刑者にするのではなく、社会で生活できるようにする仕組みの必要性を感じました。

出典：島根あさひ社会復帰促進センターの写真はホームページより

第69回 社会を明るくする運動

青森 刑務所 **青森矯正展**

全国の刑務所で製作された作業製品の展示即売、施設の見学、青森保護観察所コーナーや青森地区更生保護女性会の出店、野菜の販売や子供向けイベントなど、普段にはない賑わいでした。

令和元年7月21日（日） 青森刑務所



むつ下北地区

第40回下北一周愛のキャラバン バトンタッチでの市町村社明

【7月18日(木)】

- ①むつ市役所から風間浦村、佐井村、大間町、東通村までバトンタッチ形式で各市町村の広報車が先導して、それぞれの地区を巡回しました。
- ②各町村では、町村長及び職員の出迎えを受けた後、伝達式を行いました。東通村での伝達式は、東通中学校(生徒147名)で行い、伝達式後は、生徒による吹奏楽の演奏及び生徒会活動の発表がありました。

【7月19日(金)】

- ①むつ市役所を出発して川内、脇野沢地区の広報車で各地区を巡回しました。
- ②むつ市の伝達式は、田名部中学校(生徒629名)で行い、伝達式後は、生徒会活動の発表がありました。
今年度も関係機関の協力を得てキャラバンを盛大に実施することができました。



野辺地区

防災無線で町民に社会を明るくする運動をPR

【七戸町】 7月1日七戸・天間林2地区のスーパーや街頭等でPR活動をしました。また、作文コンテストには応募が多く小、中学校の協力体制にいつも感謝・感謝です。

【東北町】 7月1日夏まつりの日、上北町駅ステージでメッセージ伝達式を行いました。7月26日青少年育成町民会議と連携してコンビニ等を訪問し有害図書等の調査も行いました。

【横浜町】 6月14日に役場担当課課長も同席し社明運動や学校訪問の打合わせ会議を開催しました。また、毎年7月は週1回の防災無線で町民への社明運動周知の呼び掛けを行っています。

【六ヶ所村】 7月1日役場にて副村長へメッセージを読み上げ「社明運動」に協力依頼し懇談しました。その後役場前に懸垂幕等を掲げ、国道沿いにのぼり旗を設置しました。

【野辺地町】 7月9日野辺地町中央公民館で町民200名の前で「メッセージ伝達式」と音楽活動家シンガーソングライター松尾貴臣氏による「笑顔豊かな安全・安心まちづくりコンサート」を開催しました。



上十三地区

「ホゴちゃん」が大人気で盛り上がった社明運動

7月6日(土)奥入瀬ロマンパークまつりに、十和田支部保護司会、更生保護女性会、JUMPチーム、十和田警察の関係団体とともに、社明運動を展開しました。

9月7日の十和田市秋祭り中において、更生保護女性会の皆さんと協力し、社明運動を繰り広げました。この日は大変暑く、応援に駆け付けた「ホゴちゃん」の着ぐるみの三沢支部保護司さんには、大変感謝です。

全市挙げての十和田市秋祭り、桜の広場周辺は大変な人混みで、大賑わいの中、「ホゴちゃん」人気も手伝い、パンフレット、ティッシュペーパー等の街頭配布は、大いに盛り上がりました。



鯨ヶ沢地区

小雨で肌寒かった朝のあいさつ運動

今年度も当地区（深浦町・鯨ヶ沢町）の全小学校（5校）全中学校（4校）全高等学校（2校）で朝のあいさつ運動&ティッシュ配りを実施した。普段、子ども達との触れ合いが少なくなってきた昨今、朝の元気なあいさつを交わし合う時間は、私達保護司にとって至福の時間となり、またパワーをいただく時間ともなります。

両町の町民総決起大会では、協力団体の一つとして参加して、横断幕を掲げパレードにも参加しています。地域の方々との触れ合い、町民が一同に会す貴重な時間ともなります。

今年度は、朝のあいさつ運動と町民総決起大会で黄色のホゴちゃんのTシャツを着用し、アピールを試みました。小学生に「かわいいね。」と言われて嬉しい気持ちになりました。勿論かわいいのは私達保護司の笑顔でなく、黄色のTシャツのことでしょ…。

小雨で肌寒かった中学校での朝のあいさつ運動で、女性の教頭先生が温かいお茶を差し出してくれたのは初めての事です。その心遣いに参加した保護司全員が感激したようでした。



つがる地区

挨拶運動は、生徒たちの理解も得られた有意義な1日

7月2日、つがる市生涯学習センター松の館に於いて、つがる市社会を明るくする運動、市民集会を開催しました。市内小中学校生徒、地元木造高校ボランティアグループ、老人クラブ団体等総勢400名の参加で開催されました。各メッセージ後昨年作文コンクールに応募頂いた3名の生徒から作文を発表してもらい、多くの参加者から盛大な拍手で大会を盛り上げて頂きました。

市民大会後、市広報車で保護司会による更生保護の大切さを訴えての街頭宣伝活動を行いました。また当管内の車力地区では、車力小学校、車力中学校に於いて、保護司会、更生保護女性会、青少年健全育成会などの参加を頂き挨拶運動を開催致しました。先生方の他生徒達の協力もあり学校校門から玄関まで社明運動ののぼり旗を掲げて、全員参加の挨拶運動となりました。長年続ける事で、生徒たちの理解も得られ有意義な1日でした。



五所川地区

社明応援ソング「咲きほこる花のように」他数曲を生演奏にて披露

五所川原分会の“社会を明るくする運動”は、7月14日（日）五所川原市ふるさと交流圏民センター・オルテンシアにて開催される「オルテンシアフェスティバル」と同時開催され、小ホールを会場に関係団体90名程参加し、五所川原市第69回“社会を明るくする運動”推進大会を開催し、五所川原市副市長に総理大臣メッセージ伝達等を行いました。

また、昨年度の作文コンテストで入賞されました、大石大吾さんご両親、校長先生も参加されて受賞作品を朗読していただきました。さらに全国おじバンドで優勝したグループの川浪重治さんに、“社会を明るくする運動”応援ソング「咲きほこる花のように」他数曲を生演奏にて披露していただきました。その後、オルテンシアフェスティバル来場者、およそ300人に、パンフレットやうちわ等のキャンペーングッズ配布で街頭広報活動を行い好評を得ております。



河南地区

一体となって生活指導等に取り組んできたことが非行防止に

平川地区の活動は、7月3日～5日の朝、平賀、館田、尾上、碓ヶ関の各駅前と柏木農業高等学校生徒玄関前でキャンペーン活動実施。学校訪問は7月3日、9時から平川市役所前で長尾市長を迎えて出発式。その後中学校13校と高校2校を4班に分かれて訪問。訪問先では

- ①内閣総理大臣メッセージと青森県知事メッセージ伝達
- ②“社会を明るくする運動”作文コンテストへの応募依頼
- ③河南地区での保護観察事件取扱件数（資料提示）を説



明し、特に平成30年は7件にまで減った。理由として中学校学区で小中が連携し、家庭、学校、地域が一体となって生活指導等に取り組んできたことが非行防止に繋がっていると分析。

大鰐地区は6月27日に学校訪問、7月1日朝には駅前、小中学校前でキャンペーン活動を実施。7月2日午後到大鰐町中央公民館で大鰐町民総決起大会を開催。大鰐中学校生徒会長が非行防止宣言。また、大鰐小学校マーチング部による演奏が披露された。



南黒地区

公用車に標識・街宣放送9年連続

地区全体で取り組んでいる特徴的な活動としては、構成市町村の公用車（交通安全指導車等）を活用した社明街頭広報活動です。公用車にマグネット式の啓発標語を貼り付け、録音テープによる社明広報活動をこれまで9年間継続して実施しているところ。

内閣総理大臣メッセージ伝達は、地区内構成市町村長の絶大な支援と信頼を受け、地道にしっかりと活動を実施できていることは、大変有難いことだと受け止めています。

黒石支部では、市内中学校のJUMPチームや生徒会の協力を受け、期間中に登校する生徒に社明ティッシュを配布や挨拶運動を行っています。

そのほか、関係の町村で実施している防犯パレードなどにも積極的に参加し、社明活動への協力と理解を深めるためにしっかりと活動しています。

また、地区更生保護女性会黒石支部では、くろいし夜店祭りで啓発活動のためのティッシュ配布を実施しています。

社明運動の期間中、各支部では主要な場所に社明幟旗を掲げ、運動の理解と周知を図っています。



八戸地区

八戸、五戸、三戸の地域まつりなどでグッズ配布の活動

八戸分会：7月1日、内閣総理大臣、青森県知事のメッセージ伝達後、中心街での街頭啓発広報活動が行われ、ティッシュペーパー・うちわを配布し、市長とジャンプチーム代表が防犯・非行防止の呼びかけを行いました。また、7月中には以下のように社明運動が行われました。階上中学校にて、町長講話の後、生徒たちが保護司を囲んでの意見交換会。種差観光まつり、多賀台夏まつり、階上いちご煮まつりでのティッシュ・うちわの配布。長流寺での子供「禅の集い」、小中野、江陽でのおとぎ会などです。

五戸分会：7月8日、新郷村役場前、五戸町役場前にてのメッセージ伝達。専念寺での夕涼みおとぎ会、豊間内「虫送り」、五戸夏祭花火大会などで社明運動が行われました。

三戸分会：7月5日、三戸町を皮切りに、田子町、南部町を巡回してのメッセージ伝達。南部町のジャックド祭、三戸夏祭り、田子のんにくとべこ祭でティッシュ・うちわの配布をしました。



弘前地区

=安全な地域へ決意新た= 「弘前地区大盛況の大会」

7月7日(日)午前10時30分より、弘前市民文化交流ホール(ヒロロ4階)に於いて、第69回”社会を明るくする運動”メッセージ伝達式及び決起大会が総勢約220名が集い盛大に行われました。

参加者全員による五つの誓いの唱和に始まり、弘前大学瓜生太知さんと大山祐佳さんによる各メッセージの伝達、激励のことばの後、弘前市立大成小学校4年小堀和華さんによる意見発表は、参集者を感動させる内容でした。

アトラクションには、弘前キッズチアダンスチーム「ジャンピング☆ボムズ」が躍動感あふれるダンスを披露してくれ、若さあふれる鋭気をもらったと喜ばれました。

その後、ヒロロスクエア(3階)とイトーヨーカドー地下1階に分かれて更女の皆さんも同行し街頭活動を実施、大会は成功裡に終わりました。



↑大会後のメンバー

↑ジャンピング☆ボムズのダンス



小堀さん意見発表



青森地区

アウガ前の街頭広報活動, 浪打中学校で住職の保護司が講演, 青森ねぶたにも参加した多彩な社明運動



7月7日、青森市役所駅前庁舎(アウガ)前で、社明グッズ(うちわ・ティッシュ・チラシ)と黄色い羽根を配布。ホゴちゃんも頑張りました。



7月11日、浪打中学校で開催。内閣総理大臣メッセージの伝達。保護司で住職の長谷部氏が「知・仁・勇の三徳について」と題して講演。県警音楽隊の演奏も見事でした。



8月6日、青森ねぶたまつり(青森市PTA連合会ねぶた)で社明グッズを沿道の観客に配布。青森県保護司会連合会・青森地区保護司会・青森保護観察所が参加。

山形市の更生保護施設「羽陽和光会」を訪ねて

～ 青森県保護司会連合会 自主研修の報告 ～

令和元年11月7日、青森県保護司会連合会の理事13名で、山形市の更生保護施設「羽陽和光会」を訪ねた後、山形県保護司会連合会との意見交換を開きました。羽陽和光会は、高齢者・障がい者を積極的に受け入れており、また地域とは築いてきた信頼関係もあり、入所者の地元町会事業への参加や高齢者団体、子ども会、



自助グループ等へ会議室を開放、AEDの設置など施設の理解を深める良好な関係維持に努めているそうです。

また山形県保護司会連合会とは、協力雇用主への優遇措置、再犯防止推進計画の自治体への働きかけ、保護司の安定的確保について意見交換を行いました。

次の方々から浄財が寄せられました。
厚く御礼申し上げます。(敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

〈平成31年4月1日～令和元年9月30日〉

- 〈100万円〉 珍田 真
〈50万円〉 株式会社 三和堂
〈20万円〉 八戸地区保護司会
〈6万円〉 三浦 順子
〈5万円〉 社会福祉法人 内潟療護園
宮崎 春子・中村 勝弘
千葉 満・川嶋 勝美
藤井 洋一郎
〈4万円〉 黒瀧 信行・源 新彦
田邊 孝美・柿崎 雅美
山口 正春・石田 恒久
川島 芳正・石田 憲久
武田 隆一・三浦 順子
〈3万円〉 青森地区更生保護女性会(みんなのつどい)
青森県更生保護女性連盟
八木橋 満則・佐藤 玲恵子
奈良岡 隆・成田 正義
津島 弘美・沼田 桃子
半田 秀美・鈴木 泰久
大坂 健藏・佐々木 雅久
珍田 真・米谷 恵司
中村 満雄・清水 邦博
小金平 育男・吉田 誠也
鎌田 喜代志・加川 史
〈1万円〉 社会福祉法人 向明会 秋元智子
有限会社 塚本建設
今歯科医院
中泊町更生保護女性会
菊池 愛子・古川 節子
〈5千円〉 宮越 寛

(更)あすなろ 寄附者御芳名

〈平成31年4月1日～令和元年9月30日〉

- 〈10万円〉 堀越 敏雄
〈5万円〉 三浦 順子・八戸地区保護司会
〈3万円〉 富田 光子
青森地区更生保護女性会
〈2万7千円〉 八戸地区更生保護女性会
〈2万円〉 むつ地区更生保護女性会
小野 知行
〈1万2千円〉 NPO法人 青森県就労支援事業者機構
〈1万円〉 十和田地区更生保護女性会
三沢地区更生保護女性会
櫛引 ユキ子

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

〈平成31年4月1日～令和元年9月30日〉

- 【賛助会員】 〈4万円〉 株式会社 みちのく銀行
株式会社 青森銀行

令和元年 春の叙勲・褒章
おめでとうございます(敬称略)

叙勲 【瑞宝双光章】

北山 良二 (八戸・保護司) 更生保護功労

褒章 【瑞宝単光章】

小林 政英 (青森・保護司) 警察功労

褒章 【藍綬褒章】

堀内 悠久 (鱒ヶ沢・保護司) 更生保護功績

○退任保護司 長い間ありがとうございました

- (平成31年4月30日付け) 関 修明(むつ下北)
(令和元年6月20日付け) 小山田 隆(青森)
(令和元年7月10日付け) 坂本 勝克(八戸)
(令和元年7月31日付け) 大坂 昂(青森)
(令和元年8月20日付け) 木村 豊治(野辺地)
(令和元年9月1日付け)
伊藤 尚三(青森) 大柳 博(青森)
加川 史(青森) 齋藤 玲子(弘前)
渋谷 龍一(弘前) 嶋口 昭男(弘前)
音喜多 博(八戸) 久保 昭二(八戸)
小松 史明(八戸) 浅利 正昭(南黒)
小山内 牧夫(河南) 藤本 フミ子(つがる)
乙供 洋子(野辺地) 寺澤 正(野辺地)
佐々木 泰定(むつ下北) 中西 芳孝(むつ下北)
中村 満雄(むつ下北) 福浦 栄子(むつ下北)

○新任保護司 今後の御活躍を期待します

- (令和元年9月2日付け)
白取 めぐみ(青森) 安田 由美子(青森)
柿崎 由見子(青森) 齋藤 敏昭(弘前)
三浦 亮(弘前) 黒瀧 孝衍(弘前)
横山 浩信(弘前) 菅沼 由美子(八戸)
千葉 洋平(南黒) 山口 佳紀(河南)
高橋 浩二(河南) 境 康弘(河南)
竹村 竜一(河南) 鳴海 晃(五所川原)
田中 慶子(五所川原) 中屋敷 ゆり子(上十三)

○異動 (平成31年4月30日付け) 気仙保護区へ異動

【保護司】高橋 月麿(八戸)

●敬弔

ここに生前の御功績を偲び
謹んで哀悼の意を表します

【保護司】蝦名 将輝(青森) 令和元年8月11日御逝去

Table with 6 columns: 地区名, 定数, 現員数, 欠員数, 充足率. Rows include 青森, 弘前, 八戸, 南黒, 河南, 五所川原, つがる, 鱒ヶ沢, 上十三, 野辺地, むつ下北, 総.

保護司の皆様へ

住所、連絡先、職業等変更になった場合は、必ず
各地区の事務局へご連絡をお願い致します。